



## 中山 芳一先生のSAH講演会の感想特集

今回は、前号で紹介した中山芳一先生のご講演後の感想特集です。私たちはこの講演で、何を学ぶことができたでしょうか。参加者の皆さんの感想を内容ごとに紹介させていただき、形で一部紹介させていただきます。文体等一部編集させていただきました。ご了承ください。いただいた感想はすべて中山先生に送信し、見てもらったことを申し添えます。

### 1. 非認知能力についての理解が深まった

○非認知能力は正解や不正解などはない。(1年生徒)

○非認知能力は誰でも持っている、自分で伸ばすことができるということがわかった。(1年生徒)

○自分を高める力、自分と向き合う力、他者と関わり合う力の3つに自分をわけることで、自分を客観視する力をつけられることがわかった。(1年生徒) 同様多数

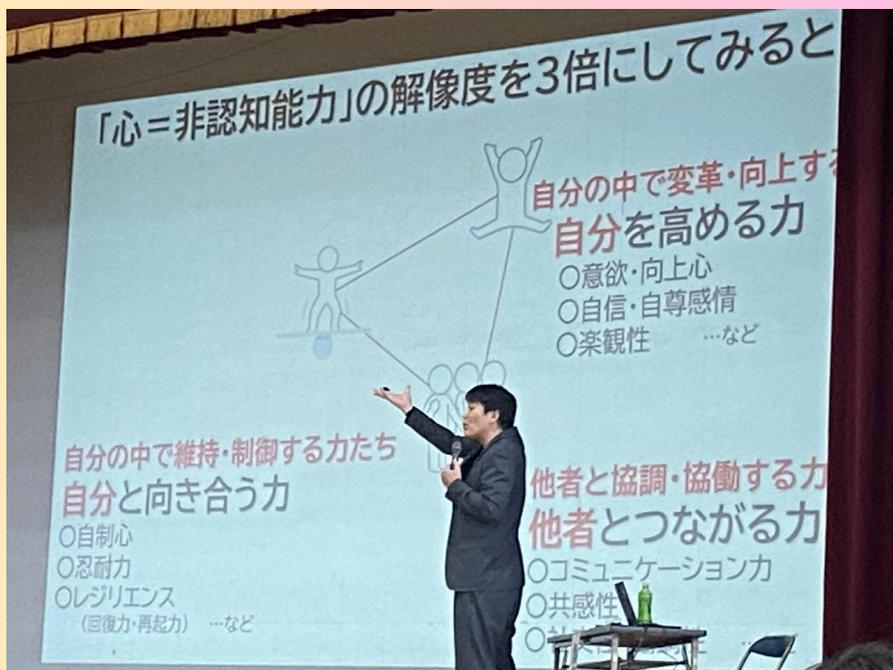
○「非認知能力」の大切さを知ることができてよかった。これから移り変わっていく将来のことを考えるとネガティブなイメージしかなく、不安があったが、「変化に乗っていこう」という前向きなメッセージを頂けて明るい気持ちになった。(3年生徒)

○非認知能力について教えていただき、学校に対する考えが変わった気がする。(3年生徒)

○非認知能力は数値で評価できないものだからこそ大事にして伸ばしていくことが大切だと思った。(2年生徒)

○自分を見つめ直すきっかけになった。非認知能力は数値化できないので行動でしめすことが大切なんだと思った。(1年生徒)

○教育におけるエージェンシーへの理解がわずかながらできたように思えた。難しいとは思いますが親として子をフォローしたいと思う。(2年保護者)



## 2. 印象的だった内容

### ①自主性と主体性の違いがわかってよかった

#### 2種類の夢の話聞いてよかった

○主体性について、誰かのためになる自主性という捉え方を知り、SAHにつなげようと思った。(1年生徒)

○「自主性」は自ら考え行動する力、「主体性」は他の人の役に立って、自分の意思で責任を持つ姿勢と理解した。違いを知り、自分の行動を見直すきっかけになった。(1年生徒)

○主体性と自主性の違いについて分かった。将来の夢について考えるときに自分のための夢と、誰かのための夢とを考えるとよいというお話もためになった。(3年生徒)

○主体性と自主性の違いが知れてよかった。SAHで色々変わっていった生徒の意見が通りやすくなっている。だったらやりたいこと全部やっちゃえばいいじゃんって思っていたけど、SAHの主体性には責任があることを知って、だから全部やりたいことだけやっていくこととは違うのだなと思った。(3年生徒)

○自分のためにしたいことと他の人のためにしたいことを決めておくことと良いということ。(3年生徒)

○非認知能力を活かして、自分や周りの人のために生きていきたい。(1年生徒)

○主体性が改めてどんなことなのかを教えて頂いた。親としてどんなサポートが適切なのかを考えさせられるいい機会となった。(1年保護者)

### ②非認知能力は高いほどいいわけではない プラスの面、マイナスの面が両方ある。マイナスを感じる特徴はプラスにおきかえることができる

○認知能力は点数化できて満点があるけど、非認知能力は点数化できないし、あればあるほどいいわけではない(3年生徒)

○認知能力も非認知能力もどちらも良い意味だが、非認知能力を高めすぎても短所になってしまうことを知った。(3年生徒) 同様多数

○自分は内気であまり自分の考えを表現することが難しく、内気で消極的なことをマイナスで考えていた。だが、講演を聞いてそれはプラスの面でも考えることができることが分かった。それを聞いてとても心が救われたような、自分を理解できたような気がした。(1年生徒)

○私は誰とでも仲良くなれる部類が当てはまるが、この部類のマイナス面は自分を出せないことだと聞いて八方美人になりすぎないようにするべきだと思った。(3年生徒)

○自分を俯瞰して見ていることが多く冷めているように見えてしまうことが悩みだったが、「自己客観視ができる」という言葉にリフレーミングでき、少し救われた。(1年生徒)



### ③気質は変えられないが、意識を変えると振る舞い方が変わっていく 意識は行動を変え、行動は習慣をつくり、習慣は運命を変える

○自分の気質を認識し、行動を変えてみようと思えるきっかけになった。

(3年生徒)

○非認知能力は伸ばすことができる。(1年生徒)

○自分の気質を気にしてしまう性格でしたが、心の特徴として受け入れた上でうまく付き合っていきたいと思った。(2年生徒)

○意識を変えれば行動が変わり、非認知能力が身につけられると知ることができました。自分の性格で変えたいと思っているところがあるので、**まずは意識から変えてみようと思いました。**(3年生徒)

○生まれ持った気質は変わらないが**意識次第で行動は変えられる**と言っていたのが心に残った。(2年生徒)

○**意識を変えることで非認知能力を上げていけるのではないかと前向きな気持ちになった。**(1年保護者)

○今まで、内気な自分があまり好きではなかったが、「**気質**」は生まれつきだから無理に変えようとしなくていいという言葉聞いて少し考え方が楽になった。自分は物事に一喜一憂しがちなので**自分を精神的な面で支えてくれる言葉を探して自分軸を大切にしていきたい**と思った。(1年生徒)

○私は自分自身の気質というものがあまり好きじゃなかったが、**生まれ持ったものは変えられないので、そこからどう非認知能力をつけていくかが重要だ**という話を聞いて、元気をもらえた。自分がどのようなタイプかを客観的に知ることができて参考になった。(1年生徒)

○今まで、もっと自分から行動しなさいと言われることが多く、自分の消極的で自分から行動を起こすことが苦手なところはだめなところだと思っていた。しかし今回の講演で**気質は変えなくても良い、自分がしたいと思う場所、やるべき場所で動けば良い**ということ聞き、**自分の気質を理解しながら伸ばせるところを伸ばせばいい**と思えて、気持ちが楽になった。(2年生徒)

### ④意識の言語化は大切 座右の銘をもつ意味がわかった

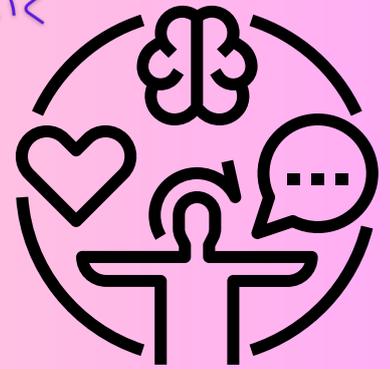
○気持ちを言葉にして具現化し意識する。言葉にしないと意識できない。その**言葉を常に心の中でそっと置いと**きながら**小さな目標に向かって積み重ね大きな目標に近づいていきたい。**(1年生徒)

○座右の銘の重要さ、目標共有のしかたを知れたので今後の部活、勉強等に活用したい。(2年生徒)

○辛いときに**心に思い浮かべている言葉を、言語化するの**は**とても大切なことだ**と思った。少しだけ、非認知能力について身近に感じる事ができた。(1年生徒)

○**自分の信念は言葉にして持つ**という言葉が心に残った。漠然とした座右の銘を、もう少し具体的で自分に火がつくような言葉にしてみたい。ウィリアム・ジェームズ**の言葉が**とても気に入ったので部屋に飾ろうと思う。(2年生徒)

○**自分の軸を言語化して持つ**ておくという言葉に共感した。私は座右の銘は何だと聞かれてもパッと出てこなかったので、自分の信じることをしっかりと持つておきたいと思った。(1年生徒) 同様多数





◎多様な考えがある 価値観は理解してくれなくてもいいけど否定はしないでほしい

○価値観は理解してくれなくてもいいけど否定はしないでほしいというのに大共感した。(2年生徒)

○理解できないことを否定しない。理解し合えなくても、共有すれば良い。(2年生徒)

○自分の価値観を相手に押し付けることはよくないし、理解するのも難しいと思うけど、相手の価値観に対してマイナスな発言をしたり否定的なことを言うのはいけないことがわかった。価値観を互いに分かち合えて、相手の価値観に共有できるところとか同じ価値観であるところとかを見つけることができるようになったらいいなと思ったし、それを隠さずに言い合えるような人間関係を作っていきたいと思った。(2年生徒)

### 3. 非認知能力についての自分の意識や行動変容への今後の抱負

○自分の考え方に取り入れて、自分にとっても誰かにとってもいい影響があるような生き方をしたいと思った。(2年生徒)

○講師の方はとてもユーモアがあり、人の心を掴むのがとても上手で感心した。自分も魅力的に相手に伝えられる話し方を学びたい。(1年生徒) 同様多数

○非認知能力はこれからの社会でさらに必要になると思うので、今回の講演の内容を活かし、現代を生き抜く力を身につけていきたい。(1年生徒) 同様複数

○有意義な講演会で、最高に楽しく、高女に入ってきてから、どんどん世界が広がって行って、尊敬する人物が増えていきます！(2年生徒)

○勉強に対するモチベーションの保ち方を知れて、冬休み中に学力上げることができそうだった。(1年生徒)

○非認知能力の必要性や自分を理解することの大切さなどを学んだ。他者評価と自己評価が一致しなかったのも、もっと自分を客観視できるようにしたいなと思った。(1年生徒)

○自分の非認知能力についてこれからの生活で意識した行動をしようと思った。(2年生徒)

○自分が心に留めている言葉がすぐに出てこなかったので決めておきたいと思った。部活動などで必要とされる力は非認知能力が大きく関わっていると思うので意識していきたい。(2年生徒)

○非認知能力はこれから先の人生を生きていくためにもとても大切だとわかった。自分はどんな人なのかしっかりと考え理解して自分のためだけでなく人のためになる人になりたいと思った。(3年生徒)

○この時期の子どもたちが、今後生きやすくなる内容でとても参考になった。PTA役員の皆様、お忙しい中準備等ありがとうございました。(1年保護者)



#### 4. 構成についての感想

- 席が自由だったので、隣の人との会話などがはずんで良かった。(2年生徒) 同様複数
- 生徒からの質問に答える発想が良かった。(2年生徒) ○質問者が結構たくさん出てよかった。(2年生徒)
- 椅子があって、話に集中できた。(2年生徒) 同様複数
- 座席を一、二年全てで自由に座るではなく、クラス単位で座席は指定したほうが良いと思った。(2年生徒)
- 進行がとてもスムーズで良かった。(1年生徒) ○講演の構成や、座席の座り方などがよかった。(1年生徒)
- 着席してすぐに眠り込んでいる生徒がいた。体が左右に揺れていたのでも床に倒れるかと心配だった。周囲の生徒のフォローもなく残念だった。(2年保護者)

#### 5. 学校の取組についての感想

- 今回の講演会を通して、高女のSAHについてより深く理解することができたので、よかった。(1年生徒)
- 高女にも非認知能力が取り入れられていることがわかった。(3年生徒)
- SAHの見方が180° 変わりました。(2年生徒)
- 高女でSAHの非認知能力を今回の講演会のように詳しく、実践的に知る機会が少なかったのも貴重な時間を過ごすことができた。(2年生徒)
- 振り返りが感想欄しかないのはなぜなのか疑問に思った。振り返りアンケートを用意した側は、この講演会の意味や需要を理解していないのか。自分は高崎女子高校の何かを変えたくて、この講演会が設けられたのかと思っていた。感想欄しかないのを見て、開催した側は生徒の何かしらの変化を感じ取れるのかと不安に思った。(2年生徒)
- 非認知能力の重要性について、メリット・デメリットや提唱され始めた経緯など知りたいと思っていたことを説明いただけだったので良かった。学校も詳しい説明なしに急速にSAHを始めるのではなく、こういう専門の先生による解説をしていただいていたほうが良かったと思った。(3年生徒)
- 結局非認知能力は点数で測って貰えないなら、学校でそんなことをする必要はないじゃないか。それはこの学校の偏差値を下げるただのお遊びに過ぎない。校長も先生方も、早く目を覚まして欲しい。(2年生徒)
- 高女が掲げているSAHは、非認知能力がよく発揮されることがわかった。変わりゆく時代の中で自己をしっかり持っていくことの大切さがわかった。(3年生徒)
- 私自身SAHの活動にはほとんど関わっていないが、これからのSAHの活動によって高女がより良い学校となり素晴らしい学生が育まれて言って欲しいと改めて思う。この活動を陰ながら応援している。(3年生徒)

#### \*学校より

今回の講演会は、司会進行や案内など、全面的に生徒会が運営協力をしてくれました。また、受付は生徒会のほか、PTA文化委員会の役員の方々にお世話になりました。ありがとうございました。自由着席という形でありましたが、皆さんの協力、そして生徒会の案内もあってスムーズに着座完了となり、予定よりも少し早く開始することができました。あらためて、準備、片付けを含み、すべての協力に感謝申し上げます。

さて、構成は、講師の先生とよりフラットな感じで身近に感じながら話ができたら、という思いで考えました。ただし、中央部に先生が立つことで、どうしても背中を見ながらの質疑応答となってしまうことについて心配していたため、後半に反対の方向を先生に向いてもらいました。いかがだったでしょうか。そして、講演会中の態度については、一人一人、周囲にも影響を与えている社会的存在であることを意識して行動してほしいと願っています。

たくさんの感想や意見をありがとうございました。皆さんが中山先生のお話に刺激を受け、非認知能力について理解を深め、今後の自分の意識や行動に変化を起こしていくような感想が多く寄せられた様子は、学校がSAHを進んでいく上で励まされました。

生徒の成長は、認知能力だけでなく、非認知能力の成長が肝要なこととは明らかなので、またいろいろこちらでも広報をしていきたいと思えます。振り返りアンケートの作成の仕方についてはいろいろありますが、今回は、なんらかの評価をするのではなく、皆さんが講演会をとおしてどんな感想をもったかを知る目的で作成しました。皆さんの感想をもらえて様子がわかり、ありがたかったです。非認知能力の重要性や学校の取組についての意味や目的など、今後、通信も使って説明、発信していきます。

生徒と教職員、保護者、地域が協働して生徒が自らの主体性を育み、「自ら考え、判断し、行動できる人」として、これからの世の中をつくっていく礎を培えるように、取組を進めていきます。皆さんからのご意見を待っています。  
(文責：SAH統括室 中村 理恵)

